

「学認応援団」 情報サービス連携 コンソーシアム



GakuNin
Ready!

ICTSFC



世界の認証フェデレーション動向 学術情報・サービスの国際流通



NATIONAL IDENTITY MANAGEMENT FEDERATIONS



- スイスSWITCHaai : 382 (50SPは商用)
- イギリスUK-FAM : 190
- アメリカInCommon : 150以上
- ドイツDFN-AAI : 60
- フィンランドHaka : 65
- フランスFédération Éducation-Recherche : 54
- ノルウェーFEIDE : 50以上

In Formation

- Egypt
- Malaysia
- New Zealand
- Poland
- Portugal
- Taiwan

Current National Federations

Australia (AAF)	Finland (HAKA)	Norway (FEIDE)
Austria (ACONet-AAI)	France (CRU)	Oman (Oman KID)
Brazil (Cafe)	Germany (DFN-AAI)	Spain (CBIC, SAUWoK, SIR)
Canada (CAF)	Greece (GRNET)	Sweden (FederationSwamid)
China (CARSI)	Hungary (NIIF)	Switzerland (SWITCHaai)
Croatia (AAI@EduHr)	Iceland (WAYF)	The Netherlands (SURF Federatie)
Czech Republic (eduID.cz)	Italy (IDEM)	United Kingdom (UK Access Fed.)
Denmark (WAYF)	Japan (学認 / Gakunin)	United States (InCommon)

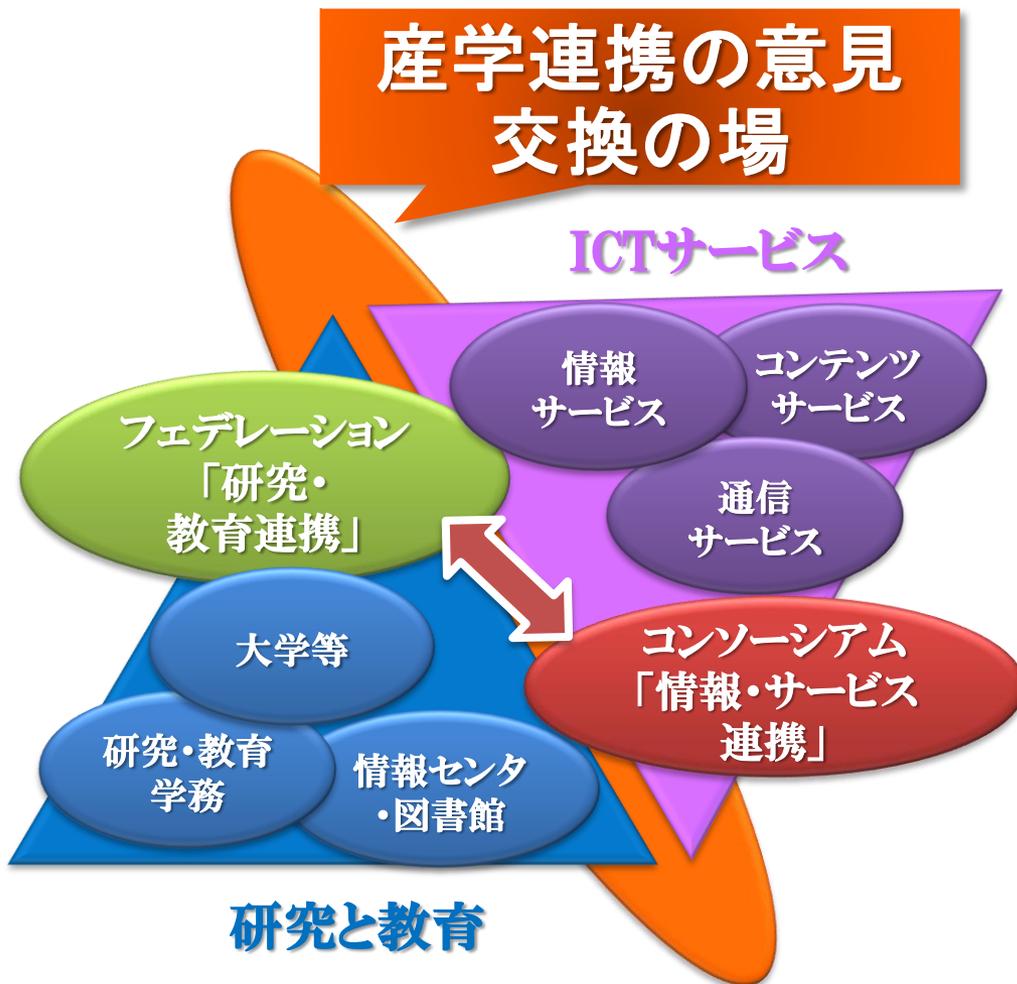
22Sep2010

産学「大」連携を目指して 「学認応援団」

情報サービス連携コンソーシアムからの提案

- グローバルな情報基盤の進展を踏まえ、新たな国際と産学連携の在り方を探る！
- 大学の電子認証基盤の進展を前提とした、情報システム・サービスの連携の仕組みを検討する！
- 多様な業界を横断した業際ID・属性交換基盤構築に貢献する！

学術情報・サービスを豊富にするために！ 「学認対応」情報・サービス連携の提案 (40社のうち6社代表からの提案)



- EMCジャパン
- NECビッグロープ
- NHK放送技術研究所
- アットウェア
- イースト
- 伊藤忠テクノソリューションズ CTC
- NJK
- NTT IT
- NTT AT
- NTT COM
- NTT 出版
- NTT LS
- エミットジャパン
- サイオステクノロジー
- サイボウズ
- 住商情報システム
- セコム SECOM
- セシオス
- 大日本印刷 DNP
- つくばセキュアネットワークリサーチ
- ディープソフト
- トランスウエア
- トランスバーチャル
- ニクサン
- 日本情報通信
- 日本電気NEC
- ネットアップ
- ネットスプリング
- ネットワークバリューコンポネッツ
- 日立製作所
- ライブドア
- ラウンドテーブルコム
- NTTデータ九州
- 朝日新聞
- ファルコンSC
- 凸版印刷
- DELL
- NTT東日本
- 日本オラクル
- アルク

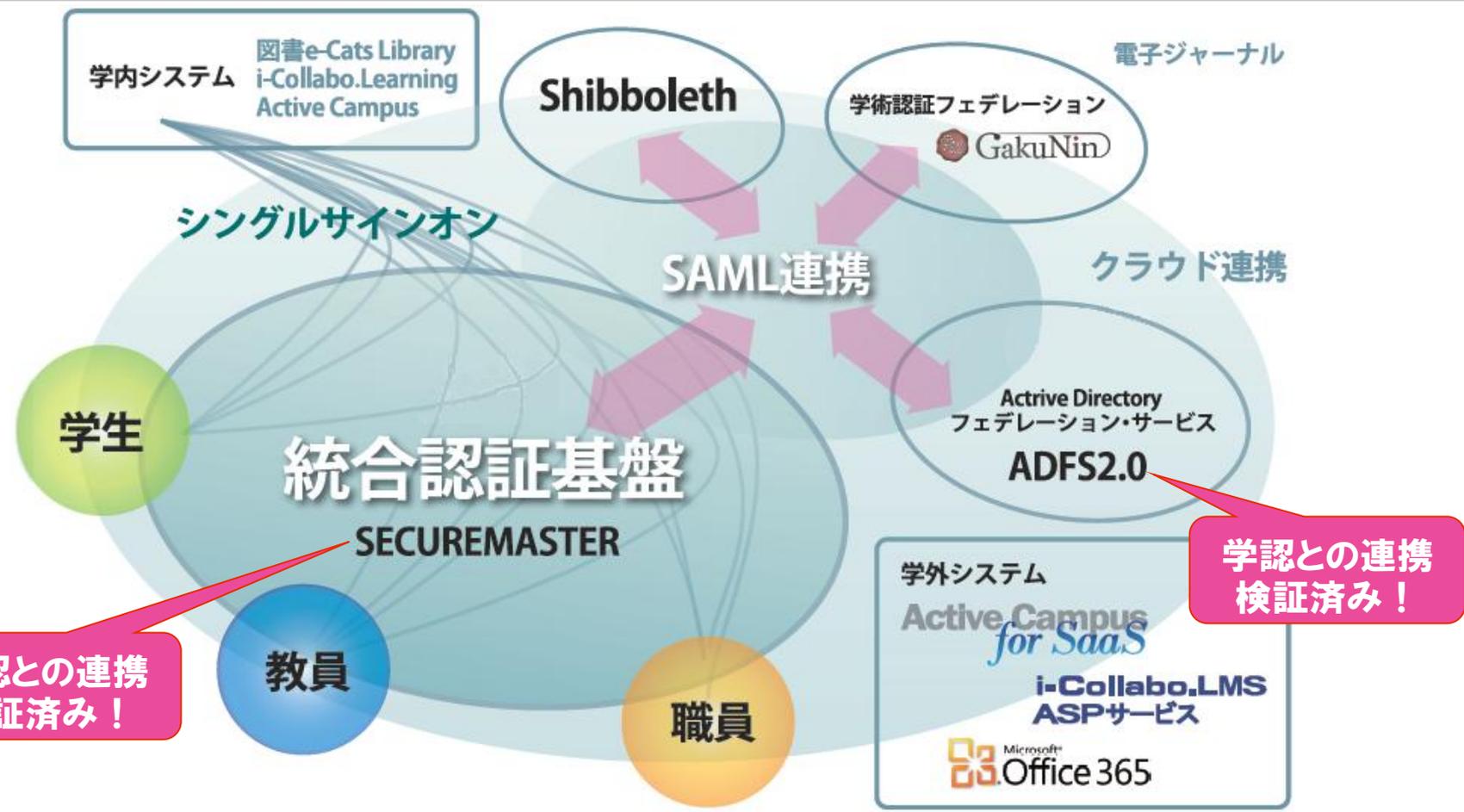
「学認対応」学術情報・サービス連携提案(例)

22社が学術情報・サービスソリューションを出展

- 学内外のサービスを連携する、学認連携ソリューション
日本電気株式会社 片岡 俊幸
- 学術機関や図書館向け学術コンテンツサービスのShibboleth化
記事ニュースDBサービス(Digital News Archives)を例として
株式会社朝日新聞社 雨森 拓児
- Shibboleth認証基盤を利用したクラウドサービスの利用
サイオステクノロジー株式会社 中田 寿穂
- 学術コミュニティShibboleth化がもたらす次のStep
株式会社ネットワークバリューコンポネンツ 渡部 進
- 図書・教務システム等の文教ソリューションのご紹介
株式会社NTTデータ九州 武原 剛士
- サイボウズで実現する学術情報連携
ーグループウェアのShibboleth情報サービス連携戦略ー
サイボウズ株式会社 清田 和敏

NECの学認連携ソリューション

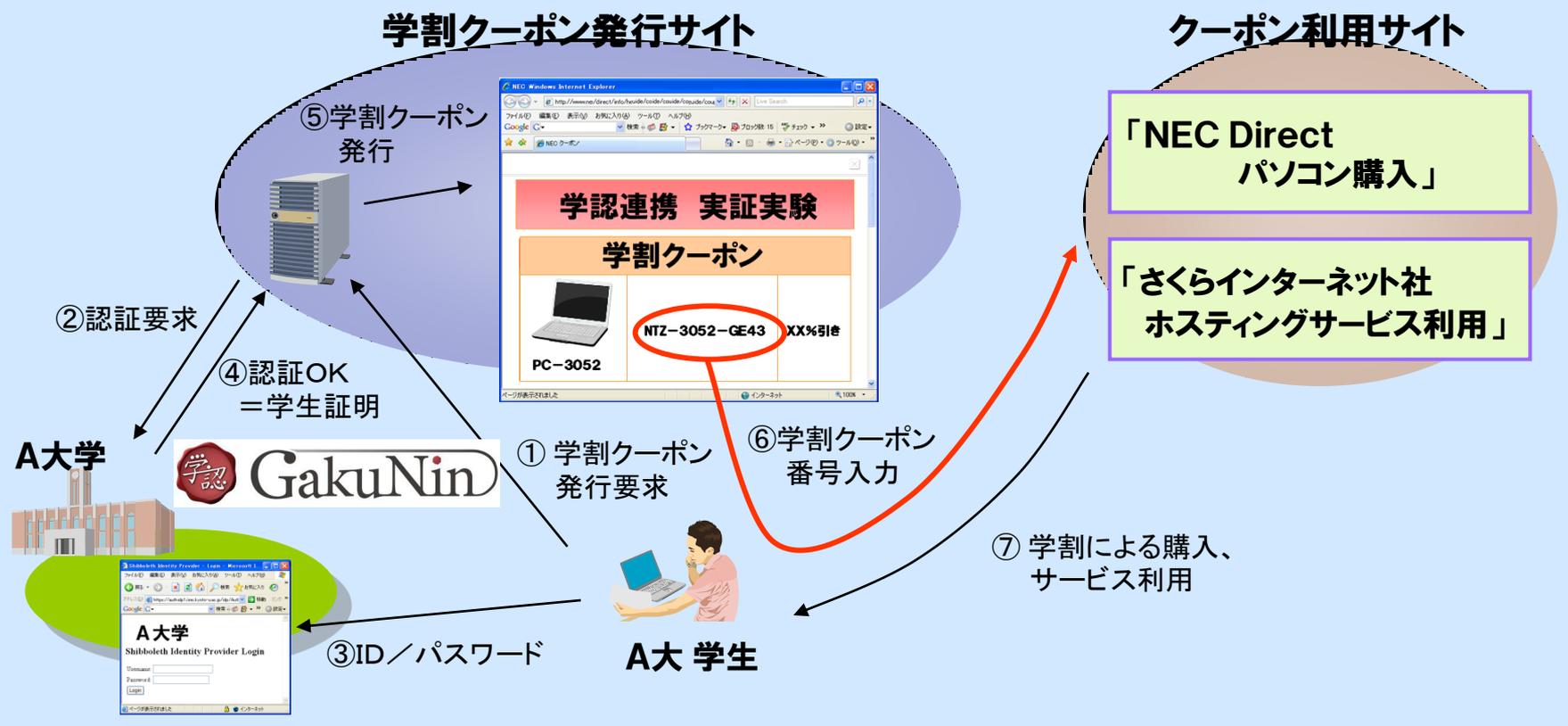
学認と連携して、SAML連携による学内サービスからクラウドなどの学外サービスまで、シームレスな連携を実現します。



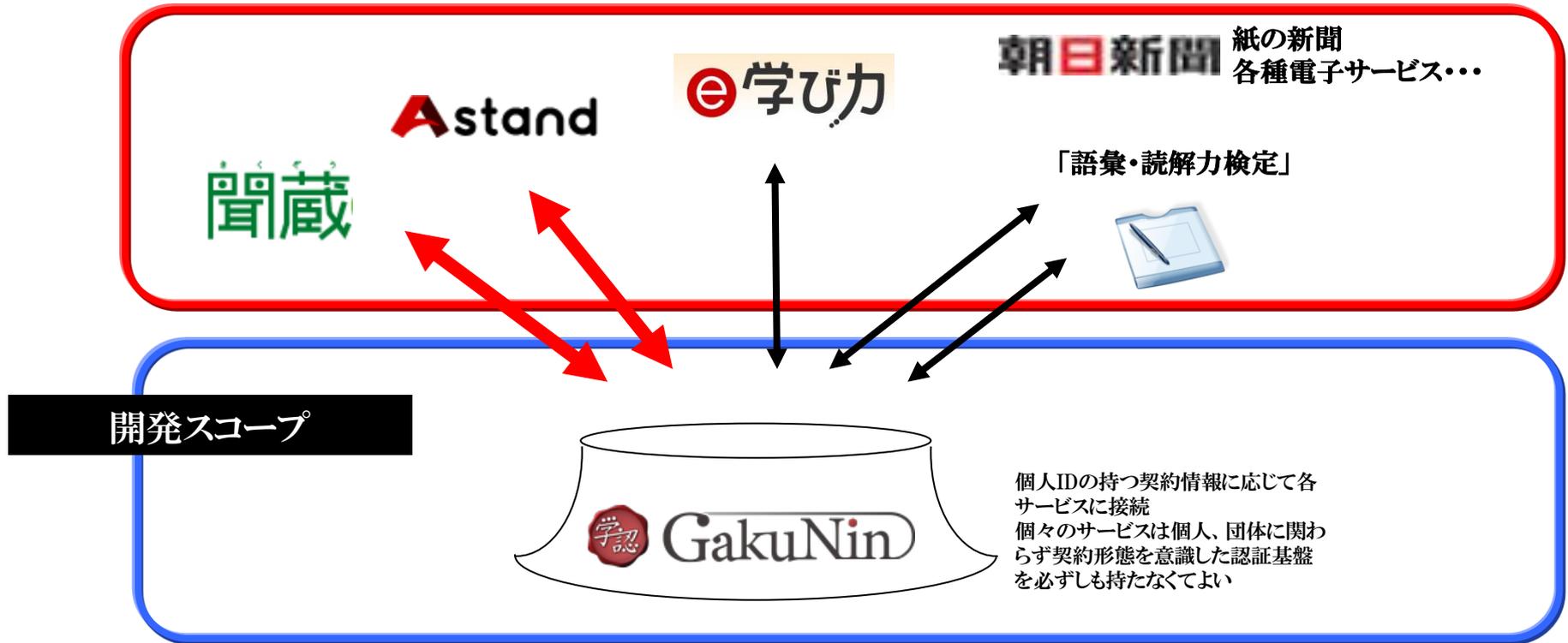
学認と連携した実証実験

NECは、さくらインターネット社様、NECパーソナルプロダクツ社と共同で学認連携した学割クーポン発行の実証実験を進めています。この連携実験、評価においては、国立情報学研究所様のご協力を頂いております。

学割クーポン実証実験イメージ



朝日新聞社のデジタルコンテンツと学術認証連携基盤(学認)連携のイメージ



仮想ユーザー



A 大学学部生
 ・大学が「聞蔵」を契約



B 大学大学院生X研究室所属
 ・研究室が「聞蔵」を契約
 ・個人でAsstand「Web新書」購入
 ・個人で「朝日新聞」を学割購読



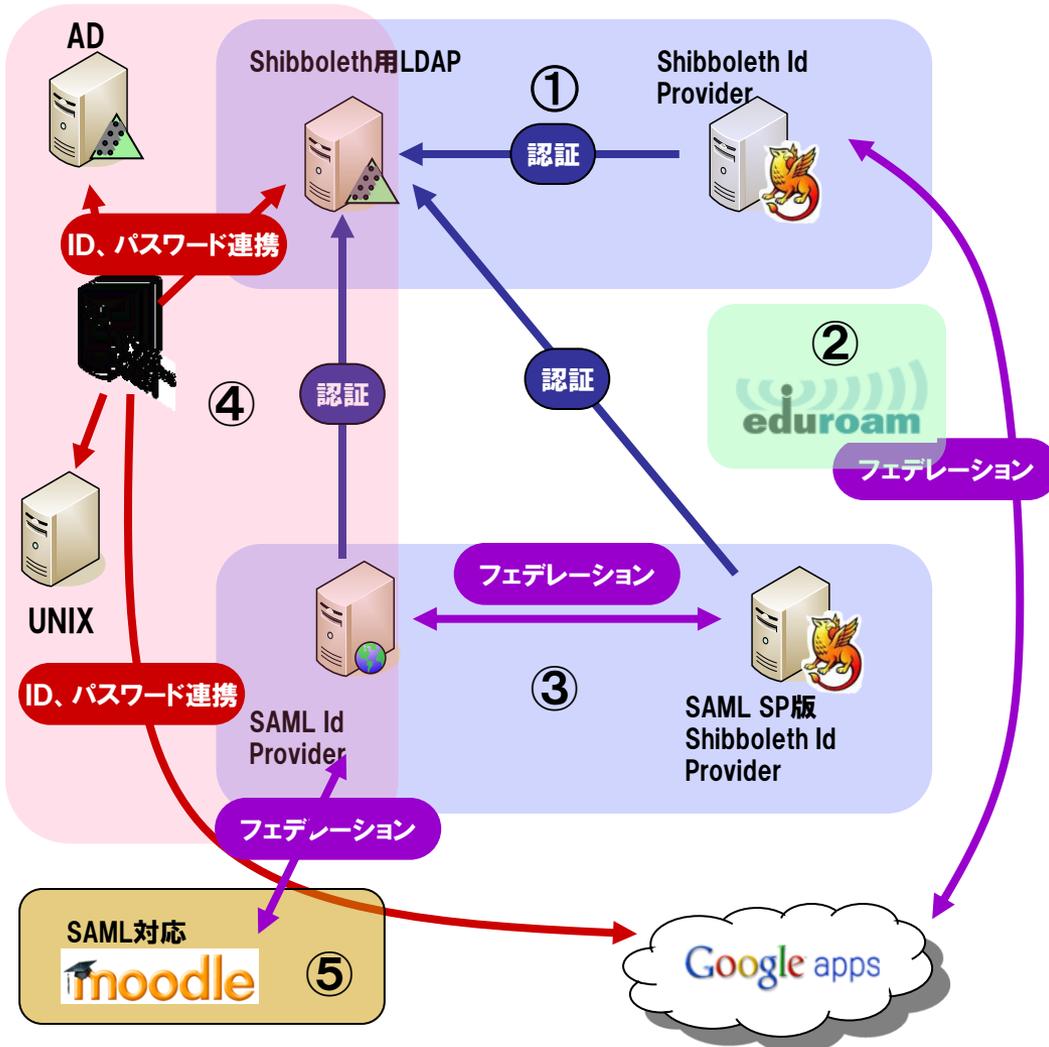
C 大学教授就職主任
 ・個人でAsstand「ダイバーシティ」購入
 ・新サービスアカデミックパック購入

CPが考える課題

	内容	影響、効果
課題1	そもそもの問題	<input type="checkbox"/> 「知の循環」に貢献できるか →現状サービスで可能な範囲 →今後必要とされるサービスは何か
課題2	学生、研究者、教職員の学認 利用頻度	<input type="checkbox"/> 学認対応サービスの認知度向上 <input type="checkbox"/> 利用者自ら学認対応サービスを利用するという行動に向かうか
課題3	なりすましの有無、頻度	<input type="checkbox"/> 連携情報の確からしさ <input type="checkbox"/> 契約者以外の利用は避けたい <input type="checkbox"/> 割引等の個別対応が適用しにくい

サイオスが提供する学認連携ソリューション

認証の連携とIDの連携



① 学術認証フェデレーションの構築

Shibbolethによる学術認証フェデレーションの構築
Shibboleth IdPによるGoogle Appsへのログインも対応可能

② eduroamの構築

国際無線LANローミング基盤 eduroam の構築

③ SAML SP版 Shibboleth Id Providerの構築

すでに、Google Appsの認証連携システム (SAML Id Provider) を導入している大学向け。現在の認証基盤を大幅に変えることなく、学認に対応可能。

④ Id統合管理

学内の認証システム (AD, LDAP) から、クラウドのID、パスワードまで、一元管理できるシステムを提供。

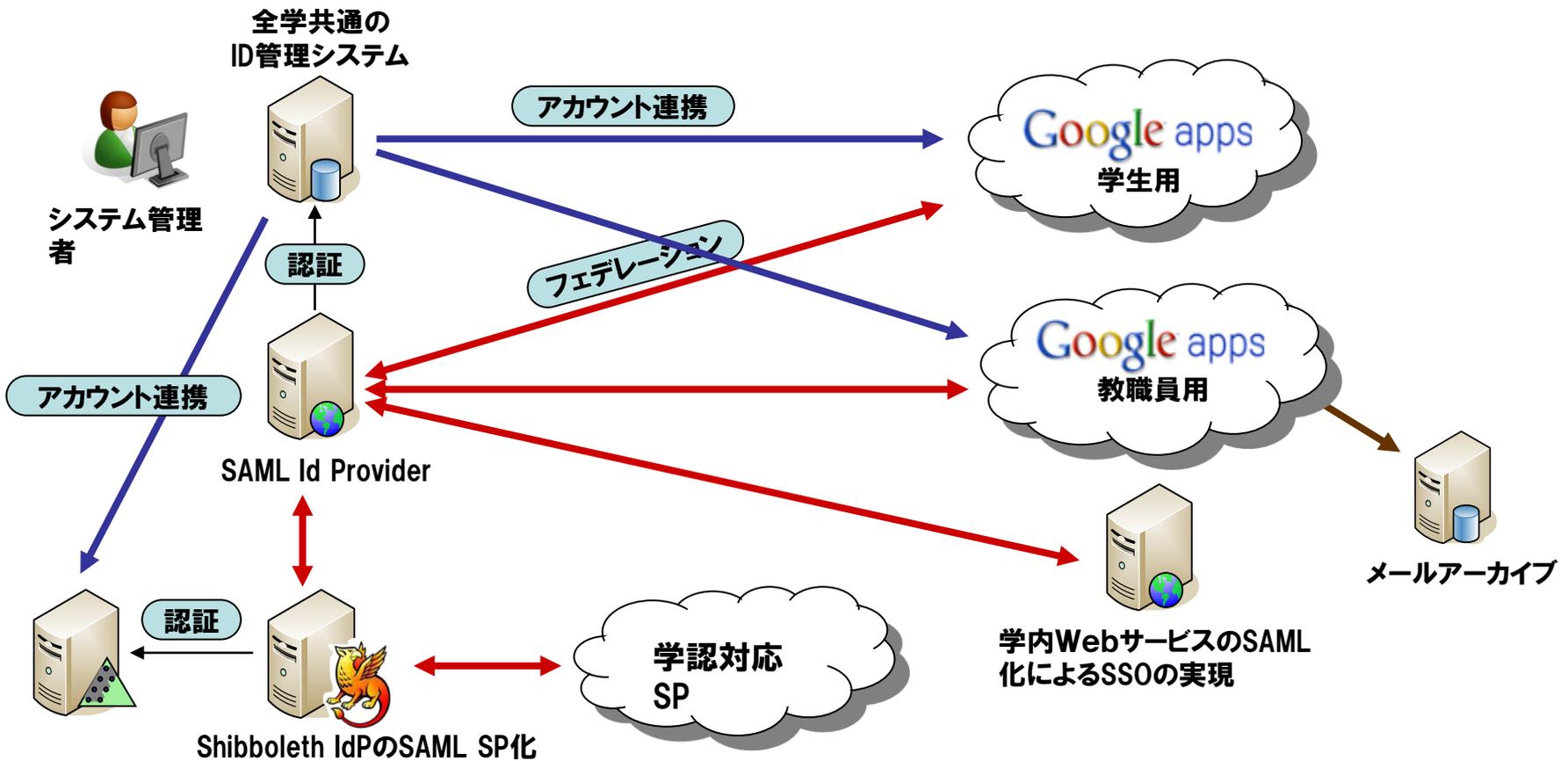
⑤ 学内Webサービスのシングルサインオン対応

SAML認証に対応していないWebサービスをSAML化することで、シングルサインオンできるようにします。

N大学様事例（2011年4月にサービス開始）

2011年春(学術認証フェデレーション対応認証基盤の導入)

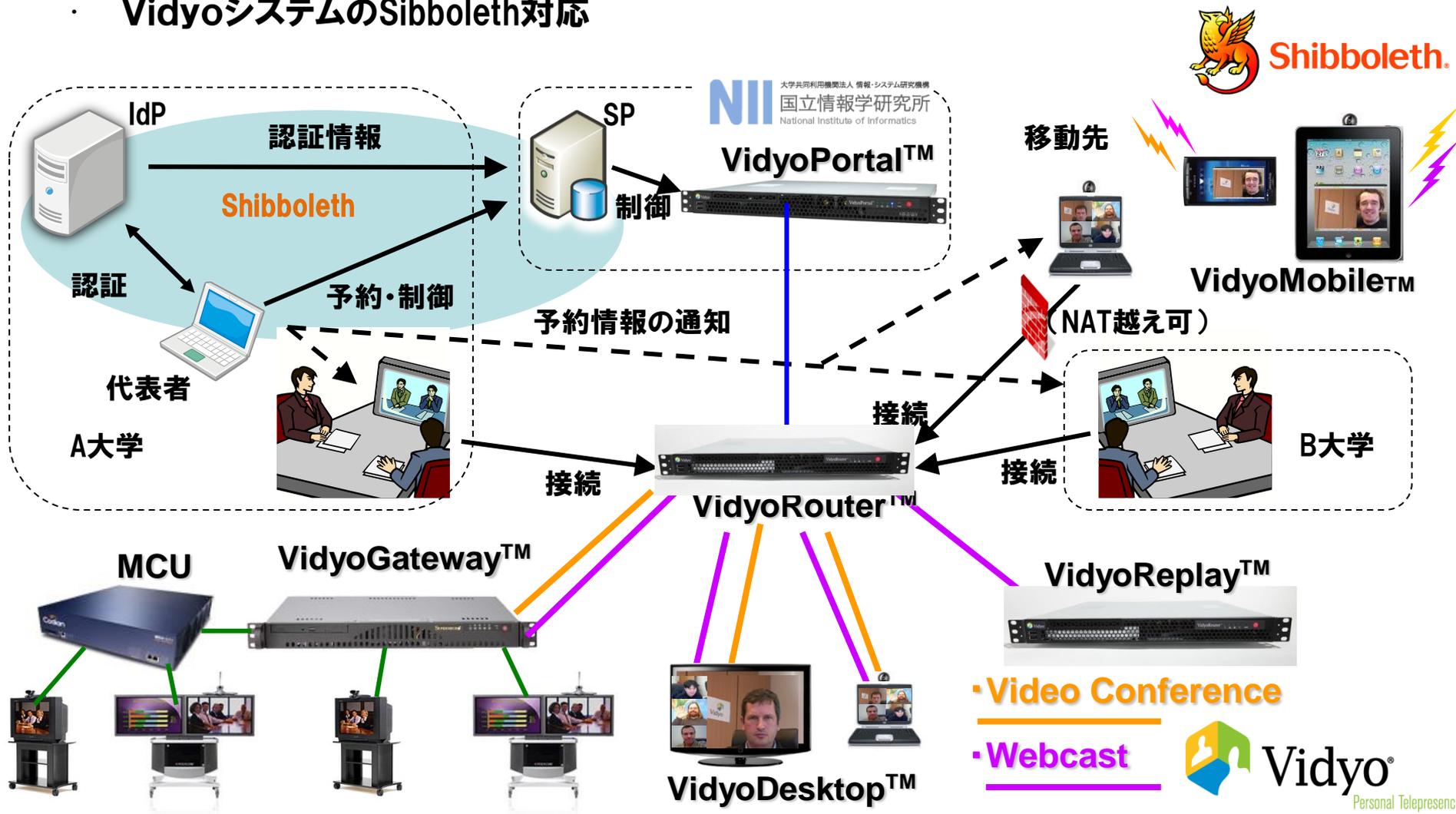
※ Shibboleth IdPをSAML SP化することで既存の認証基盤を大きく変えることなく学認に対応



学術コミュニティShibboleth化がもたらす次のStep ヘテロジーニアスTV会議Shibbolethテレビ会議多地点接続サービス

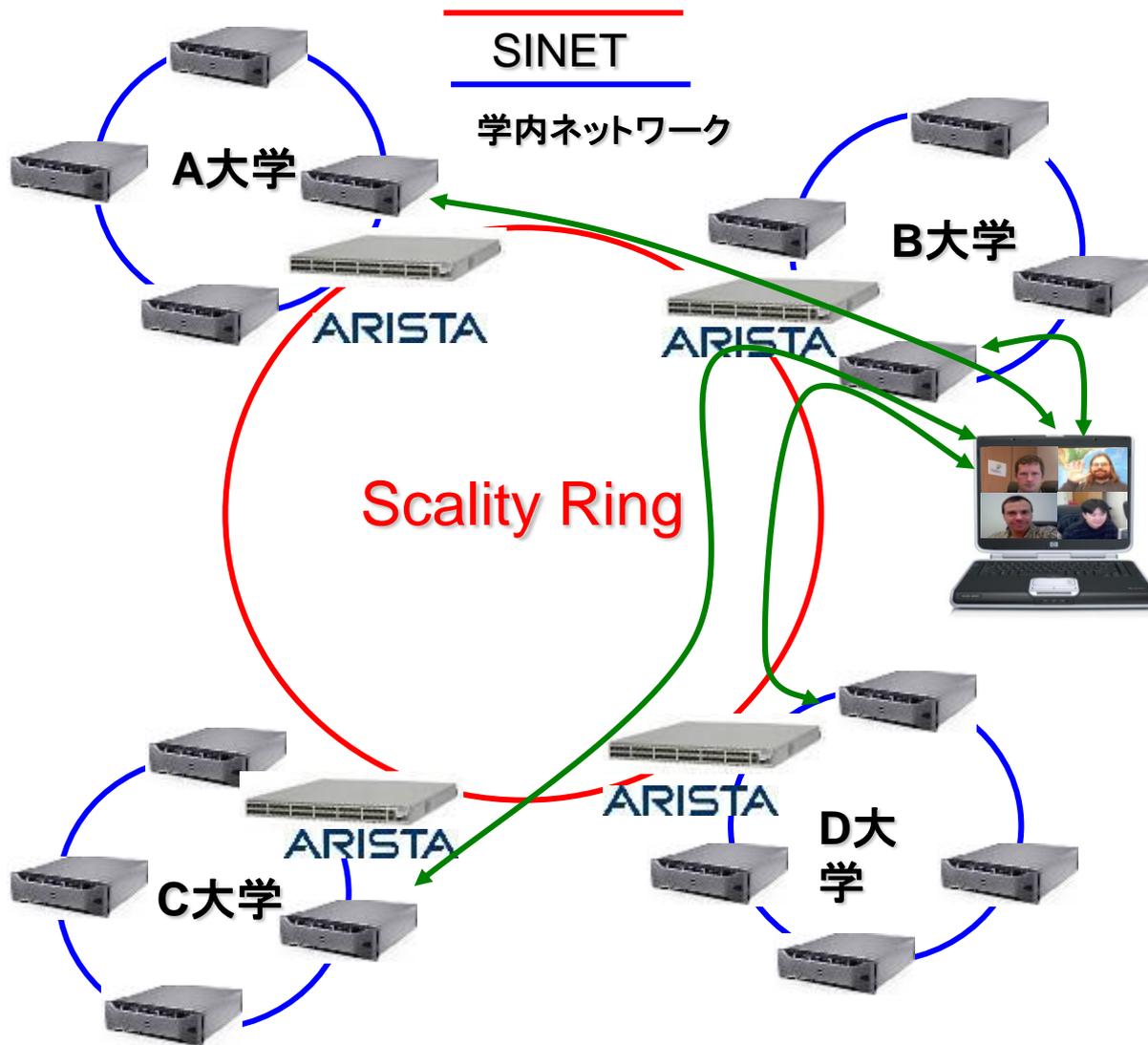
NII 中村素典先生・山地一禎先生 資料一部引用

VidyoシステムのShibboleth対応



Cloud Storage

Scalityによる大学間データ連携



- Scality Ringによる仮想空間
- Shibboleth認証
- シングルサインオン
- 仮想空間のデータにアクセス

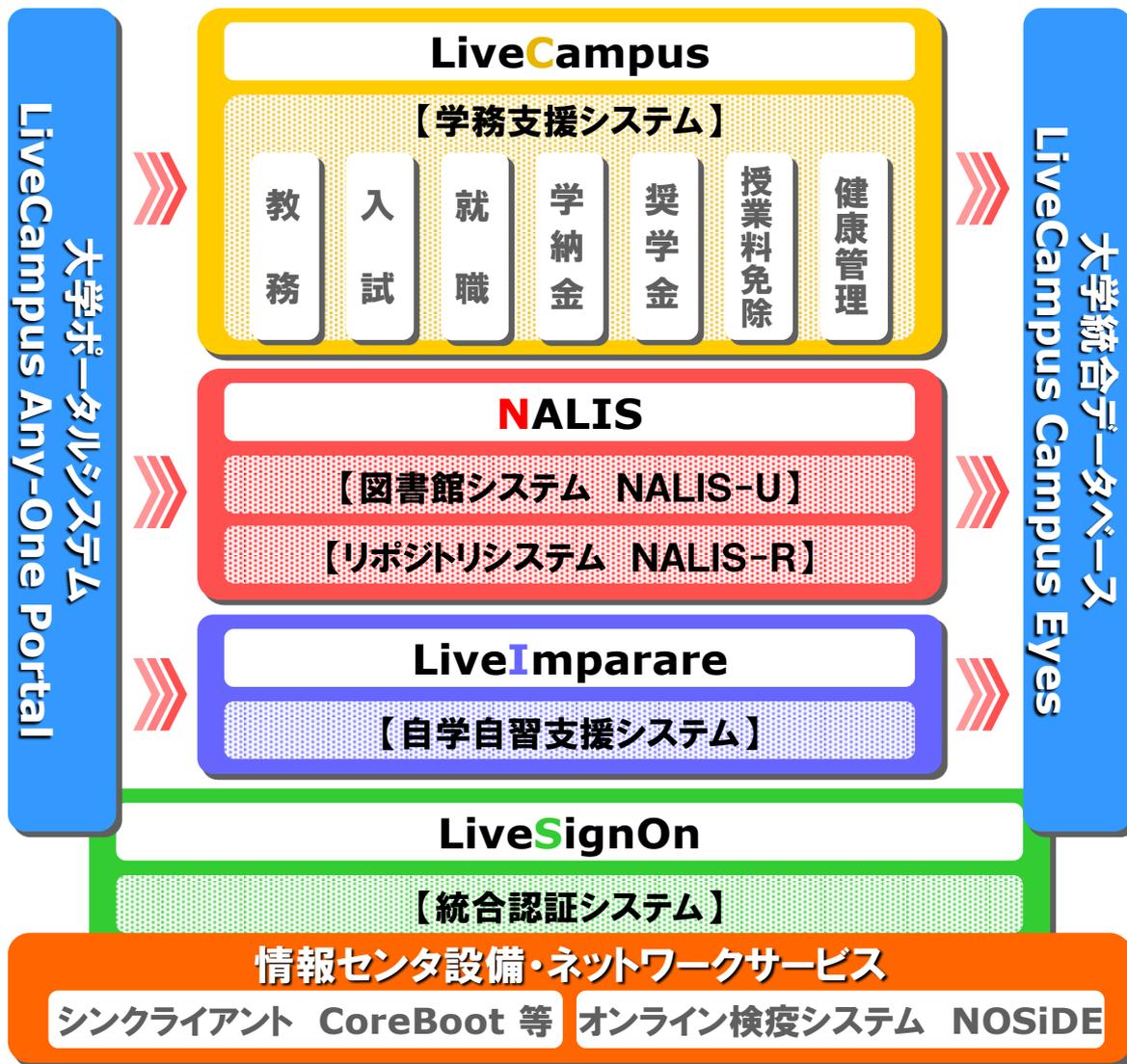
+

ARISTA

- クラウド向け10GbE L2スイッチ
- 600nsec以下の低遅延

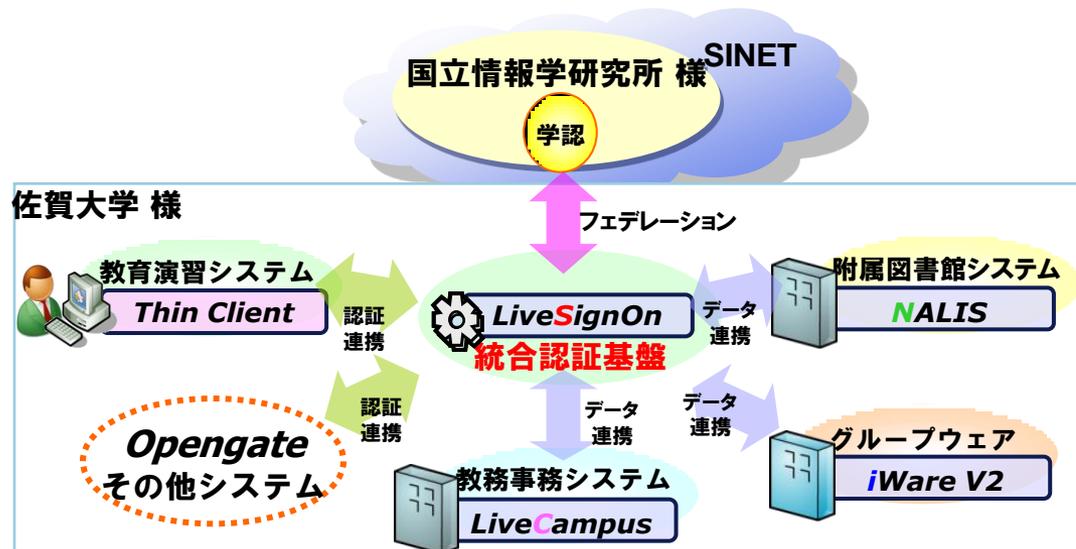
大学向けサービスの統合

九州から全国へ！
文教に特化した自社製パッケージ製品を核としたメーカー色に縛られない大学統合ソリューションを提供します。



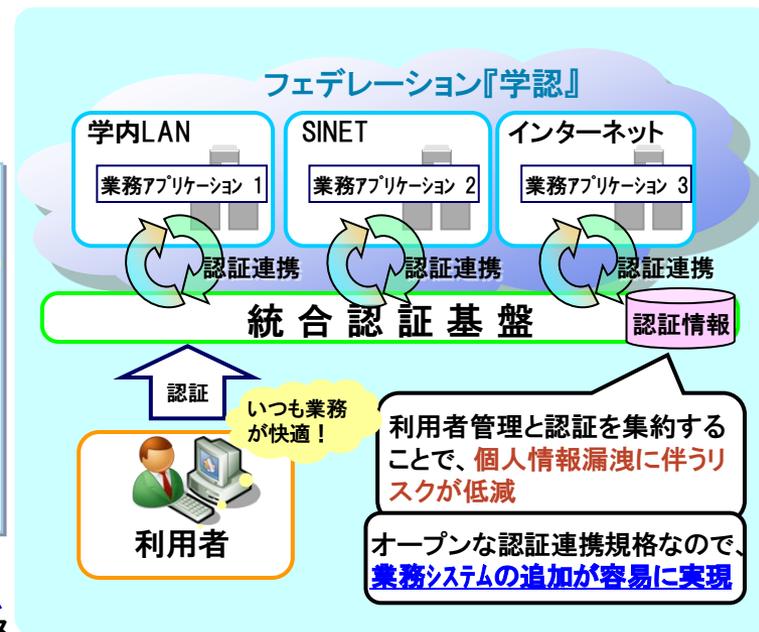
佐賀大学様 Shibboleth導入事例

シングルサインオン基盤としてShibboleth IdPを統合認証基盤と連携することで、学認フェデレーションに接続しました。



【佐賀大学様へ提供したシステム】

- LiveCampus 学務支援システム
- NALIS 図書館情報システム
- iWare V2 大学向けグループウェア
- シンクライアントシステム SunRay ターミナルサービス [Windows/Solaris 対応]



学内サービスのログイン連携

附属図書館、教務事務システムやグループウェアなどのWebサービスだけでなく、佐賀大学様が独自展開されている携行クライアント接続システムOpengateでもSSO環境を実現

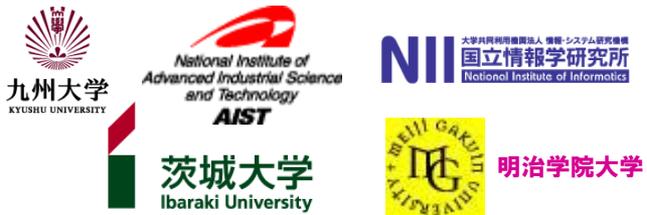
学外サービスのログイン連携

学認経由で、他大学や海外のSPサービスを利用可能となり、他大学の利用者が佐賀大学のサービスを利用可能に。

- グループウェアのShibboleth情報サービス連携戦略 -



Key Customers



Joining



ガールーン3とshibboleth認証

例)

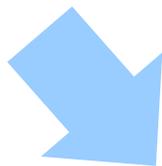
さいぼうず株式会社

ログイン名

パスワード

次回もこのログイン名を使用する

[shibboleth認証でログインするユーザーはこちらから](#)



IdP



shibboleth SP



LDAP

※インストールディレクトリがデフォルトの場合のテンプレート編集例

/var/www/ci-bin/cbgrn/page/login.tpl を編集し SP へのアクセスリンクを生成します。

【修正前】

```
50行目: <td><input type="submit" class="login_margin" value="ログイン"></td>
```

```
51行目: </tr>
```

```
52行目: </table>
```

```
53行目: </div>
```

```
53行目: </div>
```

【修正後】

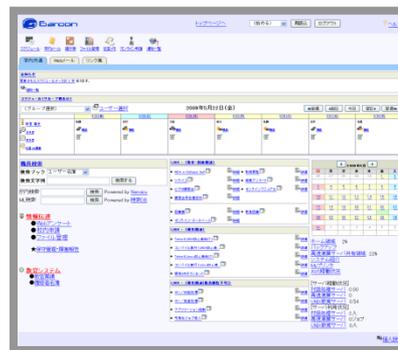
```
50行目: <td><input type="submit" class="login_margin" value="ログイン"></td>
```

```
51行目: </tr>
```

```
52行目: </table>
```

```
53行目: <a href="http://sample.com">shibboleth認証でログインするユーザーはこちらから</a>
```

```
54行目: </div>
```



ガルーン3とshibboleth認証

Garoon
システム管理(基本システム) > 認証
認証
お知らせ ■ 基本システムの管理 ● 各アプリケーションの管理

- ログイン認証
- セッション認証
- 認証データベース

お客様情報
アプリケーション
ユーザー
認証
シングルサインオン
ファイル
画面
カレンダー
通知
ロギング
ライセンス
外部サーバー
ローカライズ
管理権限

システム管理(基本システム) > 認証 > ログイン認証 > ログイン認証の追加
ログイン認証の追加 - Step 1/2
ログイン認証形式 環境変数認証

次へ >>

Garoon
システム管理(基本システム) > 認証 > ログイン認証 > ログイン認証の追加
ログイン認証の追加 - Step 2/2
[*]は必須項目です。必ず入力してください。

表示名*	Shibboleth
環境変数名*	REMOTE_USER
環境変数書式	ログイン名
この文字列までを除外して認証	
この文字列以降を除外して認証	@
認証データベース	標準データベ

<< 前へ 追加する キャンセルする

環境変数名 (REMOTE_USER)